

地域づくりにおける市町村の役割 ～市民が主役の協議体～（福岡県福津市）



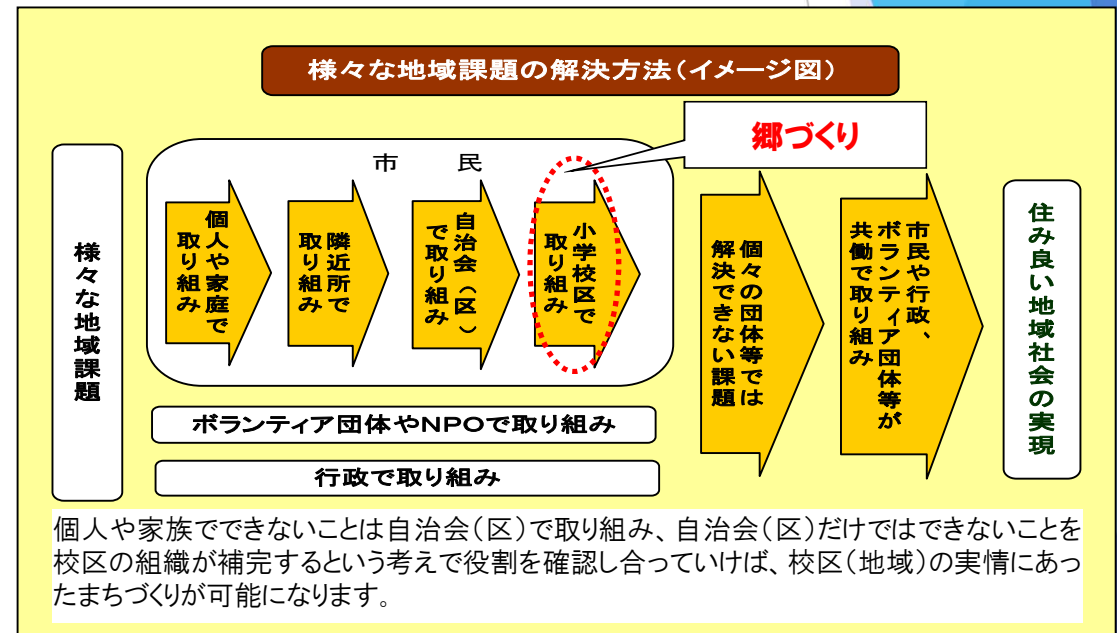
(平成29年5月末現在)

- ◆平成17(2004)年1月
福間町と津屋崎町が合併
- ◆面積 52.71 km²
- ◆人口 62,429 人
- ◆15未満人口 9,474人
(15.2%)
- ◆65歳以上人口 17,364人
(27.8%)
- ◆75歳以上人口 8,283人
(13.3%)
- ◆要介護認定者数 2,419人
(14.0%)
- ◆介護保険料 5,250円

本事例のポイント

住民による住民主体の協議体の立ち上げ

郷(さと)づくりとは



福津市が平成19年度から取り組み始めた「**自分たちの地域は、自分たちの手で**」という考えのもと、概ね小学校区を単位として、地域住民や地域で活動する団体同士が互いに協力・連携し、地域の課題解決や個性的で魅力ある地域づくりに取り組む「地域自治」の活動。

協議体設置までの流れ

～平成27・28年 各地域で行われるフォーラム・研修会等への参加
平成28年7月 暮らしのサポートセンター「サンクス」開所
・寄り合い場 ・集いの広場 ・お困りごと支援

平成27年12月 第1回～第9回
～平成28年9月 協議体準備会の開催

平成28年10月 福津市協議体の設置

協議体準備会 プログラム

- 第1回(平成27年12月18日)
高齢者福祉計画、介護保険事業計画の説明
- 第2回(平成28年1月20日)
「助け、助けられ上手になるためのゲーム」
- 第3回(平成28年2月24日)
「地域のつながりを考えよう」
- 第4回(平成28年3月23日)
「第3回の『困りごと』について考えよう」
- 第5回(平成28年4月27日)
「これからの協議体設置についてみんなで考えよう」
- 第6回(平成28年5月25日)
「もしも福津市に協議体があったら」
- 第7回(平成28年7月27日)
「生活支援コーディネーターはどんな人が適任？」
- 第8回(平成28年8月24日)
「協議体と生活支援コーディネーターに関する
質問と意見交換」
- 第9回(平成28年9月28日)
「生活支援コーディネーターを選ぼう」

参加よびかけ先

- 郷づくり推進協議会
- 民生委員・児童委員協議会
- 地域包括支援センター
- 小地域福祉会
- シニアクラブ
- シルバー人材センター
- 社会福祉協議会
- 社会福祉法人
- 介護保険サービス事業所
- 光陵高校
- 水産高校
- 宗像看護専門学校
- 認知症セーフティネットワーク
蓮華草
- 見守り協定締結事業所
- イオンモール福津
- 消防団
- 警察 ほか

協議体の取り組みについて

○協議体メンバー 77名(H28.10.26現在) → 124名(H29.6.12現在)

多種多様な方々が参加(参加届を出せばどなたでもOK!)

活動実績

- ・協議体通信の発行
- ・「地域の宝を自慢しよう」エリア別発表



地区ごとの情報共有ができ、自分の地区で行う取り組みの参考になった

「協議体準備会」「協議体」で大切にしてきたこと

○参加していただいた方の声を十分に反映できる場にする

→ 取り組めることはすぐに実行する

○話し合いを始める前から、「落としどころ」は決めない

○参加は自由意志に基づく → 熱意のある人に参加してもらえるようにする